

今月の断酒表彰

- ☆Y・Sさん 吹田支部 断酒六カ月
- ☆A・Dさん 吹田支部 断酒五年
- ☆T・Hさん 南千里支部 断酒十四年
- ☆T・Tさん 吹田支部 断酒二十年
- ☆D・Sさん 南千里支部 断酒二十年



平成30年4月1日発行 No.182

編集・発行 事務局・広報部

<http://suitashi-danshukai.net>

【今月の「指針と規範」】

断酒会規範十

十 断酒会は政治、宗教、商業活動に利用されない。

断酒会は、例会に於ては体験談に終始するという原則を持っているが、組織の運営を討議する理事会、代議員会等では、何でも自由に討論することができる。ただし、政党、宗派の問題だけは例外である。

断酒会にはあらゆる政治思想、信仰を持つ人が入会している。政治思想、信仰は、信奉する人にとっては絶対的ともいえるものであり、そうした議論の中で起こる確執は断酒会員の融和、一体性を損なうだけでなく、将来にしこりを残すからである。

また、そうした議論の中でも意見統一があった場合は、断酒会は政治、宗教に利用される怖れがあり、「断酒会は人間愛に充ちた純粋な奉仕団体である」という、基本理念を捨てることにもなるのである。

確かに断酒会は、政治的に動くことはある。地方行政機関に様々な要請をし、政治家に協力を求める。しかしそれは、地域の酒害者を救済するためのものであり、酒害啓発活動をより効果的にするためである。つまり、断酒会活動の一環として行っているものである。また、協力を要請する政治家は酒害問題に理解を示す人に限られており、かつ党派を超えたものである。

断酒会は政治的に動いても、政治的に利用されない組織である。選挙等には一切関与しない。また、宗教団体の協力があったとしても、断酒会を布教の場にはさせない。酒害問題は社会全体の問題であり、われわれの活動に協力することは彼らの良識であり、見返りを求めないはずである。

断酒会は財源が乏しいので、活動資金を得るために出版や商品の販売を組織として行うことがある。これは止むを得ぬ手段であるので許される。ただし、酒害問題に直接、間接的に関係のあるものの販売が常識である。

会員個人、もしくは外部の者の利益のために、断酒会の中での商行為は許されない。断酒会の純粋さを侵すだけでなく、会員同士の間関係の悪化につながるからである。

(指針と規範 P95～P96)



断酒表彰おめでとうございます。

ますますのご活躍を期待いたします。

断酒に思う (86)

南千里支部 T・H

酒が原因で離婚となった年の暮れに妻と子供が家を出て行き1人になった。これで好きなお酒が気兼ねなく飲めると喜んだ。

飲みかけた酒が止まらなくなり、ブラックアウト状態で正月をお迎え、気がつけば又再びコンビニに酒を買に行っていた。酒を飲み始め今度気がつけば1月6日の夜であった。胸が苦しく心臓が止まりそうであったので救急車を呼んだ。救急車に乗ろうとしていた時に1番下の息子が帰ってきた。市民病院に運ばれ点滴を打ってもらった。息子が迎えに来てくれ無事家に帰ることができた。この時息子が来てなければまた酒を飲んでいたのかもしれない。別れた嫁と娘が保健所で調べて新阿武山クリニックに予約を入れてくれていた。

病院につながることができアルコール講座、院内例会を受けるようになった。断酒会にもつながる事ができ、断酒がスタートした。最初は完全に酒をやめることなど考えてなかったが病院、断酒会に参加するようになって断酒の決意が固まった。

酒を飲んでいた頃は毎日が飲食運転の繰り返しであり1つ間違えれば事故を起こして犯罪者になっていたかもしれない。運良く犯罪にならなかったことを感謝したい。

酒を飲むことに時間を使っていた自分が断酒を始めてからは家族、自分に時間を使うことができるようになった。飲んでいた頃は家族との思い出を作れなかったが今は良い思い出を作ることができるようになった。離婚して独身生活も始まり1人で生活できるようになった。

自分1人では何もできなかったが、今では自炊できるようになった。生きていけると感じる今日この頃である。断酒がこんなに素晴らしい事とは思わなかった。

今後もこの時間を大切にするために断酒に頑張りたいと思います。

吹田市断酒会定時総会のお知らせ
 5月12日(土)20時から総合福祉会館で開催しますので、会員・家族の皆さまはご予約ください。出席出来ない方は、事前に決議委任等の手続きをお願いします。
 なお、5月度の本部例会は同じ日の19時～20時に開催します。

みんなの広場

ハートふれあい祭り開催！

心配されていた不順な天候も当日は晴天。3月10日(土)に第8回ハートふれあい祭りが浜屋敷で開催されました。昨年の7月以降毎月持たれた実行委員会に断酒会からも毎回参加し協議を重ねて当日に備えました。

断酒会は第2回以降、毎年「アルコールパッチテスト」を来場者に実施しながら酒害の啓発に努めてきました。以下、当日の様子を画像で紹介します。

＜後藤吹田市長の挨拶＞



＜ステージ観客＞



＜主屋内の断酒会ブース＞



＜来場者へのテスト実施風景＞



3月度の役員会で今年の実施状況を振り返り、次回以降より効果的な啓発活動の実績を上げられるよう工夫をしていくこと確認しました。

〈みんなの広場〉では会員家族のみなさんからの投稿を掲載していきます。

近況報告、趣味の披露、読書感想、映画・ビデオ鑑賞の印象、会へのご意見等々、発表形式は、散文、短歌、俳句、川柳、漫画、イラストなんでも結構です。奮って応募して下さい（広報部）

